

平成 18 年 5 月 22 日

各位

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO 松本 大
(コード番号 8698 東証第一部)

プログラム運用企画運営会社トレード・サイエンス (株) による
「スーパー・カブロボ 第 1 回コンテスト」開催の発表について

当社が平成 18 年 4 月 3 日に株式会社早稲田情報技術研究所 (代表取締役社長: 加藤 浩一) と共同出資により設立しましたトレード・サイエンス株式会社 (代表取締役社長: 加藤 浩一、以下 T S 社) が、「スーパー・カブロボ 第 1 回コンテスト」開催の発表をいたしましたので、ここにお知らせいたします。なお、当社子会社のマネックス証券株式会社は「スーパー・カブロボ 第 1 回コンテスト」の特別協賛を致します。

T S 社は、プログラム運用*を用いた投資助言サービス及び資産運用サービスを提供することを目的として設立されています。今回のスーパー・カブロボ・コンテストにて広く一般から多様な運用手法を有するロボットを公募することで、同社の今後の資産運用サービス提供への大きなステップに繋がること、期待されております。

詳細は添付資料をご参照下さい。

※プログラム運用とは、市場の値動きやその他のファンダメンタルズなどを基に、予め設定したアルゴリズム (プログラム) によってシステムが自動的に売買の判断から注文の執行までも行う運用手法です。

以上

【お問合せ先】

マネックス・ビーンズ・ホールディングス (株) CEO 室 コーポレート・コミュニケーションズ
担当 (金井・上田) 電話 03-6212-3750

NEWS RELEASE

株式会社全自動アルゴリズム・トレード・ロボット「カブロボ」
「第1回 スーパー・カブロボ・コンテスト」の開催を発表
～ 実運用への登竜門 ～
本年秋から総額 5 億円の実運用を開始！

2006 年 5 月 22 日

トレード・サイエンス株式会社（以下 TS 社:本社東京都新宿区、早稲田大学発ベンチャー）は、マネックス証券株式会社の特別協賛を得て、株式のアルゴリズム（頭脳）トレードを行う運用ロボット（略称:カブロボ）による株式の自動運用コンテスト「スーパー・カブロボ・コンテスト」を開催することを発表します。

株式の自動運用コンテスト「カブロボ・コンテスト」は、すでに 2004 年 12 月より 2006 年 3 月まで 2 回開催されており、合計で約 4,800 台のカブロボが参戦して競争を繰り広げました。成績上位のカブロボの中には、年率で 500%を上回るパフォーマンスを残しているものもあります。今回は、カブロボの稼働環境をよりリアルに近いものにするるとともに、名称を「スーパー・カブロボ・コンテスト」に改め、その第 1 回コンテストを行うことにいたしました。参加者向けの情報は、専用の web サイト www.kaburobo.jp 上にて順次公開します。

コンテストは、2006 年 7 月から 11 月まで web 上で行います。参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。TS 社はこのコンテストを通じて、10 体の優秀カブロボを選出し、それらの優秀カブロボが、コンテスト終了後約半年間にわたり、実際に総額 5 億円の実運用を行う予定です。したがって、このコンテストは、カブロボがこの実運用フェーズに進むための登竜門として位置付けられます。

また、実運用フェーズでは、運用成績に応じて別途 TS 社が定める報酬をカブロボ作者にお支払いする予定です。(注 1)

さらに TS 社としては、将来的に、実運用フェーズにおいて優秀と認められたカブロボを、個人投資家に対するテーラーメイド型の運用プログラムの提供等に発展させていくことを目指しております。



(注 1) 優秀カブロボの選出は、TS 社が別途設置するスーパー・カブロボ審査委員会によって総合的に評価して行います。具体的には、今コンテスト期間の成績結果、TS 社が独自に行う長期の実データに基づくバックテストの結果、およびカブロボのアルゴリズム自体が評価対象となります。なお、実運用フェーズや報酬等につきましては、関係諸法規を遵守し関係当局との調整を終えた上で今後発表させていただく予定です。なお、実運用フェーズでは、各カブロボ作者と TS 社が共同にて、その目的のため必要な改良を加えることがあります。



カブロボは、PC 上で動作するソフトウェアで構成するアルゴリズム・トレードのロボット(ソフトウェア・エージェント)です。コンテスト期間中は、そのカブロボに対して作者は指示を出さず、カブロボは作者の設計したアルゴリズムに基づき、完全に自動で売買を行います。

過去のコンテストでは、チャート分析を行うものから、ファンダメンタルズを考慮するもの、脳神経ネットワークやゲノムの解析技術を応用して株価を推測するもの、また風水を取り入れたものなど、多様なアルゴリズムのカブロボが参加しました。

スーパー・カブロボ・コンテストは、全自動売買ロボットを効率よくプログラミングもしくは設定することができる先進の開発と運用環境(プラットフォーム)を提供しています。そのため、カブロボ作者は、自分の投資方針を容易かつ自在に組み込むことができる特徴があります。

Java 言語を用いて独自のアルゴリズムを実装する開発者に向けて説明会を開催します。

日時：6月3日(土)と6月17日(土)、各 14:30-16:30 (2回は同内容です)

場所：早稲田大学 研究開発センター

参加申込：web ページにて、5月26日より



トレード・サイエンス社は、株式会社早稲田情報技術研究所(早稲田大学が出資母体で先端情報科学分野の基礎研究成果を産業界に移転・事業化するための応用研究所)とマネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社が共同で出資して2006年4月に設立した会社です。プログラム運用を用いた投資助言サービス及び資産運用サービスを提供することを目的としています。(TS社は、助言を行うための投資顧問業法の登録申請を予定しております。)



開催スケジュールなどコンテストの概要は下記のとおりです。協賛、後援、協力は、5月22日時点のものです。(一部予定)

■開催概要

行事の名前	「第1回 スーパー・カブロボ・コンテスト」
主催団体	スーパー・カブロボ・コンテスト実行委員会
特別協賛	マネックス証券株式会社
協賛	日本アイ・ビー・エム株式会社
後援	早稲田大学
協力	ヤフー株式会社、東京証券取引所、名古屋大学、早稲田大学 IT 戦略研究所、株式会社早稲田情報技術研究所
企画運営	トレード・サイエンス株式会社
コンテスト大会 WEB	http://www.kaburobo.jp/

■コンテスト概要

開催趣旨	<ul style="list-style-type: none"> -1 アルゴリズム・トレードの技術的向上および普及に貢献することを目指します。 -2 将来的に、このコンテストの成果が一般投資家の投資活動に貢献すること、具体的にはテラーメード型の運用プログラムなどを提供できることを目指します。
日程等	<ul style="list-style-type: none"> -1 第1回コンテスト：2006年7月1日より2006年11月末まで。 -2 カブロボのエントリー期間は、2006年7月1日から2006年8月31日までの間になります。 -3 開発に必要な情報と環境は、2006年6月から順次提供します。
ルール概要	<ul style="list-style-type: none"> -1 TOPIX 出来高上位銘柄を中心にスーパー・カブロボ・コンテスト実行委員会が選定した約500銘柄を対象に日々売買を行います。(注2) -2 コンテストでは、仮想資金を用いてシミュレーションとして運用を行います。当初5,000万円からスタートします。(銘柄、株価は実際のものです。) -3 空売りが可能です。 -4 一人6台までカブロボを参加させることができます。
参加資格	<ul style="list-style-type: none"> -1 学生、社会人、どなたでも参加できます。 -2 登録費、参加費など無料です。

カブロボの設定	-1 TS 社が用意する Web ブラウザを用いて自らの投資方針を設定していく方法と、Java 言語を用いて自由にアルゴリズムを記述していく方法などを選択できます。 -2 参加者には、作成したカブロボのパフォーマンスを過去の実データで検証できるバックテスト環境が提供されます。
表彰・賞金	-1 総合評価による表彰（10 体程度） -2 各種特別賞
その他	-1 参加カブロボの売買指示内容と成績などを、日々 Web 上で公開します。

(注 2) 出来高上位 500 銘柄で、東証、大証、ジャスダックの約 80%をカバーします。

【本ニュースリリースに関するお問合せ先】

<コンテスト参加希望者、一般の方>

Webサイトに問い合わせ窓口がございます。

コンテスト 大会Webサイト: <http://www.kaburobo.jp/>

<報道関係>

トレード・サイエンス株式会社内

スーパー・カブロボ・コンテスト実行委員会 事務局 担当: 国貞、杉山

TEL: 03-5292-3851 FAX: 03-5292-3406 E-mail: info1@trade-sc.jp

(早稲田情報技術研究所 会社 web <http://www.w-it.jp/>)

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 513 早稲田大学 研究開発センター 120-4 号館 203
